



おおぞら

コミュニティ・スクール
長井市立致芳小学校だより
令和3年12月1日 NO.14
校是「和致芳」

「みんながなかよく高め合って、たくましく輝く致芳校をつくろう」

生活科・総合的な学習の県研究大会が行われました。

11月26日（金）本校を会場に第9回山形県小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会西置賜大会が行われました。県内各地から参加していただき、本校の2年生の生活科と4～6年生総合的な学習の時間の授業を参観していただきました。内容は生活科ではお祭りとプログラミングの融合の試み、総合では地域の伝統芸能少年少女五十川獅子踊りを6年生から4・5年生に伝承する場面です。一番大切にしていたのは、子どもが活動する姿から見える表情・目の輝き、そこから伝わる思いです。ですから、オンラインではなく何としても実際に授業を見てもらいたいと思っていたので、大変嬉しかったです。おまつりで1年生に喜んでもらうにはどうしたらいい



か、お師匠様から教えてもらった地域の方々の思いを踊りの中で表現することをどう伝えるかと相手意識をもって活動し、互いに成長していきます。「相手意識」「思い」「伝える」それが生活科・総合的な学習のめざすところであり、新しい学習指導要領で大切にしているところです。生活科と国語・図工・音楽などをつないで総合的な学習の充実や地域の実態を生かした単元づくりに取り組んできました。学習発表会での獅子踊りはお師匠様から最高にほめてい

ただくほどの素晴らしい演技でしたから、これを6年生から下級生に「技」と「心」を引き継いでいきます。

参会者の皆様から、「感動しました。地域の方々の願いをしっかりと引き継いでいるのですね」「うまい組み合わせですね。生活科でもどんどんプログラミングを取り入れていきますね。面白い！」と感想をいただきました。講演していただいた先生からは「もっと良くしたい、上手に説明し



たいという気持ちがあるね。これからぐんと伸びるね、あの子たちは」とお話ししていただきました。今回の授業の意図を十分に汲んでいただき、子どもたちをさらに伸ばす支援への示唆をいただきました。ICT支援が厚い長井市だからこそ、地域と一体となっている致芳小だからこそできる研究大会でした。



小町の会のみなさんから昔語りを聞きました



11月8日の朝、長井小町の会のみなさんにご協力いただいて「昔語り」をお聞きしました。各学年にお一人ずつお出でいただきました。92歳の大ベテランの先生は1年生教室で「3人の友達」「たぬきの恩返し」の2つの話を語っていただきました。みんな静

かで立派に聞いていてすばらしいとほめていただきました。語り口のみごとさにどんどんお話しに引き込まれていったのだと思います。素敵な朝の時間でした。本当にありがとうございます。次回は12月6日にご来校していただきます。



アルミ缶リサイクル活動に感謝状 税務署長さんから租税教育への感謝状

児童会環境委員会を中心にアルミ缶の回収を行っています。各家庭からアルミ缶を持ち寄って、たくさん集まると北原産業さんに引き取ってもらい、リサイクルされていきます。世界中で取り組んでいるSDGsの活動そのものです。その収益で市内

の福祉施設に車椅子を贈っています。その取り組みを評価していただき、この

度の表彰につながりました。ご家庭からの多大なるご協力によるものです。地域の方や企業の方にもご協力していただいています。児童会だけでなく、ご家庭と地域の皆様のおかげでいただくことができたものです。心より感謝いたします。

うれしい表彰が続きます。長井税務署長佐藤様、総務課長森様においでいただき、全校朝会で児童代表が感謝状を受け取りました。長年にわたり「租税教室」として税の仕組みを学び、税に関する絵はがきコンクールにも毎年参加しています。昨年も素晴らしい賞に輝いています。継続して学んで



きたこと、参加・活動してきたことが認められての感謝状です。喜び合いたいと思います。

致芳小学校のホームページ・ブログでも子ども達の様子をお知らせしています。こちらのQRコードからどうぞ。

